

Uchino Dental Clinic News Letter

2020年4月号



大阪府八尾市安中町6-5-14

☎072-922-4433

内野歯科クリニック

検索

こんにちは！内野歯科クリニック院長の内野 泰樹です。
世界全体でパニック状態に陥っている中、
これまで以上に平和的なコミュニケーションと冷静な判断が必要とされており、
フェイクニュースやデマを鵜呑みにせず情報を自ら精査し判断する力を身に付けたいですね。
お口のことでお困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください。

■御挨拶とお願い

内野歯科クリニック院長の内野泰樹です。いつもご来院頂きありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染が国内でも広がっています。政府から「不要不急の外出を避けるように」といった声明も出されました。自分が感染しないことももちろん大事ですが、風邪のような症状があり感染が疑わしい場合には、決して無理なさらず、お気軽にご予約についてお電話ください。

明確な治療法がない中、感染を防ぐため日頃からできる予防対策は「健康な体づくり」です。今回は「免疫力・抵抗力・持病」をキーワードに歯科医師の立場からお話します。

■自分の身は自分で…今できることを

「慢性炎症」をご存知でしょうか？慢性炎症とは、本来一過性で治まるはずの炎症反応が低レベルではあるものの、長期間持続して慢性化した状態を指します。このダラダラとくすぶるような炎症状態が持続すると、生体組織の機能や構造に異常が生じてさまざまな疾患の原因になることが知られています。特に、非感染性疾患と総称される生活習慣病やがんなどを引き起こす要因として、慢性炎症が注目されています。

慢性炎症が生じるメカニズムについては不明な点が多く、

研究途上にありますが、最近では腸内フローラの乱れやそれに伴うリポ多糖などの菌体成分の体内への移行が関与する可能性が指摘されています。(引用・出典/ヤクルト中央研究所)

■慢性炎症とお口の関係

慢性炎症があると抵抗力や免疫力が低下する事は想像するに難しくありません。

近年この慢性炎症に関係する要因としてお口の中の細菌、特に歯周病菌が注目されています。歯周病菌は歯と歯茎の隙間の歯周ポケットと言われる部分の歯根に付着しているとされていましたが、歯茎の皮膚内に生息していることがわかりました。歯茎の血管に入り込み、全身へと広がって行くのです。また、歯茎の炎症を引き起こすだけでなく、全身の炎症を引き起こす事がわかってきました。お口の状態が悪いと、美味しく食べられなくなるだけではなく、全身にも影響を及ぼしますし、ひいては健康で長生きするための基礎をも脅かすことになりかねません。全身の健康の為にも毎日のセルフケアはもちろん、プロによる定期的なお手入れもお勧めします。

抵抗力・免疫力を下げ持病のもとになる「慢性炎症」をお口の中から引き起こさない様にお手伝いできたらと思っております。 内野歯科クリニック 院長 内野 泰樹

当医院における感染予防対策のご紹介

私は管理学会の認定医の資格も取得しておりますので、医療衛生管理は得意中の得意。国内屈指の高度な感染予防対策をとっております。

当医院では、高圧滅菌器など各種滅菌器や器具除染用洗浄器を取り揃えており、ハンドピースやその他の器具は患者様ごとに滅菌した物を使用しております。そして、治療時に使用する手袋やエプロンは使い捨てにしております。

また、セントラルオゾン殺菌システムを装備しており、(写真右)オゾン水を院内すべての水に溶解させ、オゾン水として利用しています。皆様のお口に直接触れる、診療チェアから出るうがいの水や、削る機械から出て来る水、歯石を取る時に出てくる水、全てがオゾン滅菌水で出ていますので、治療中の口腔内全て滅菌しながら治療が行えるのです。

さらに、院内の汚れを常にクリーンな状態にする為に、夜中とお昼休みにはオゾンガス、常時はエアロサービス社の空気清浄機を運転させています。診療終了後の夜中の2時間の間、昼休みに、天井のバルブ(写真左)より診療室内にオゾンガスが放たれ、室内に残留した細菌を殺菌いたします。かなりの働き者で、皆様が手にする雑誌や診療台までガスに包まれます。

患者様が安心して治療を受けられるよう、普段見えない部分までスタッフとともに徹底しております。どうぞ安心してお通いください。





Dental Column 「美しさの条件?!!」

美しさの条件とは

皆さんにとって「美しさの条件」とはなんでしょう？

「明眸皓齒(めいぼうこうし)」という言葉をご存知でしょうか。これは、中国の唐代の詩人・杜甫が、その詩「哀江頭詩(あいこうとうし)」の中で、玄宗皇帝の寵愛を得て皇后となった楊貴妃美貌を形容したものです。

その美しさに溺れた玄宗は政治を顧みず、ついに安祿山の乱を招き、楊貴妃は扼殺されます。詩人・杜甫はこの悲劇を「哀江頭詩」に詠い、「明眸皓齒今何処にか在る」と悲しみました。

明眸皓齒…いわゆる「美しく澄んだ瞳と白く整った歯並び」の意味から、古来より美しさを讃える言葉として使われ、日本でも美人を表す言葉として定着しました。

また、明眸皓齒と同義語とされる「朱唇皓齒(しゅしんこうし)」という言葉もあります。

これは魏の曹植が「洛神賦(らくしんのふ)」において、「丹き唇は外に朗かに、皓き歯は内に鮮やかなり。明眸善くかえりみて、えくぼの権(つら)に承(う)けたり」(=赤い唇は外に輝き、真っ白い歯は内にあざやかに、澄み切った目はよく動き、えくぼは頬に愛らしい)と詠っています。

要は「白い歯」が「美人の条件」だった訳です。

ところ変われば…

反対に日本における美しさの条件は少し異なっていた様です。少し時代が遡りますが、江戸時代では女性が結婚すると「お歯黒」をしていました。お歯黒は文字通り歯を黒く染める処置。古来より明治初期まで長い歴史を経て続い

ていた女性の風習です。

実は、歯を黒く染める鉄の溶液や、またそれを使用して歯を染めることにより、むし歯予防の効果があるとされていますから、「皓齒」を保つには合理的だったのかもしれないね。

このお歯黒文化の起源については、日本古来からあったという「日本古來說」や、南方民族が持って来たという「南方由来説」、インドから大陸～朝鮮を経て日本に伝わったという「大陸渡來說」など諸説ありますが、外国から伝来した風習であるとしても、日本特有の文化に練り上げ、千年以上の永きにわたり女性のむし歯の予防に役立っていたことは驚くべき事実です。

現代では

さて、話は現代に戻ります。ご存知のように先進国・アメリカでは、大人の歯科矯正やホワイトニングが定着しています。

アメリカでは、スリムな体形と綺麗な歯並びで他人に好印象を与える容姿であることがエグゼクティブとしての必須条件だからです。

ダイエットやお化粧品、ヘアスタイル、そしてファッションセンスなどと異なり、ご自分の努力だけではどうにもならないもの…それが「歯並び」です。

そう考えると、現代における歯科医師は美人作りのお手伝いができそうですね。

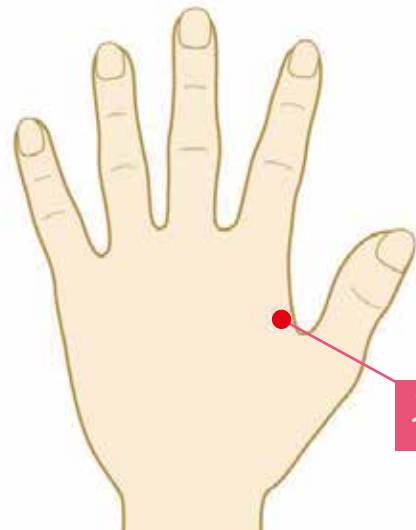


つぼなおはなし 「万能のツボ」

♥今回ご紹介するのは、「合谷」です。風邪のひきはじめや目、鼻、歯の痛みなど首から上の症状に効果的。ほかにも肩こり、ストレスなど万能のツボともいわれています。また頭皮の血行をよくすることで「フケ」を抑える効果、そして皮膚の治癒力を高めることで「肌荒れ」「ニキビ」にも期待できます。

合谷 (ごうこく)

手のこうを上にして親指と人さし指の間にくぼみを押え、痛みのあるところ、気持ちのいいところをやさしく押しみましょう。時と場所を選ばずいつでも気軽に押せるので初めての方にもおすすめです。



ごうこく
合谷